保証とアフターサービス

【保証書】
保証書は必ず「お買い上げ日·販売店名」等の記入をお確かめのうえ、販売店から受け取っていただき内容をよくお読みの後、大切に保管してください。保証期間は、お買い上げ日から1年間です。

【補修用性能部品の最低供給年限】
この製品の補修用性能部品の最低供給年限は製造終了後1年です。性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

【ご不明な点に関するご相談】
お買い上げの販売店にお問い合わせください。

【修理を依頼される場合】
「故障かな?と思ったら」にしたがってお確かめいただき、なお問題が解決しない時は、電源を切り、販売店にご連絡ください。

【保証期間中は】
修理の際は保証書をご提示ください。保証書の規定にしたがって販売店が修理させていただきます。

【保証期間が過ぎている時は】
修理すれば使用できる場合には、ご希望により有料で修理させていただきます。販売店にご相談ください。

保証書

本書は、本書記載内容で無料修理を行うことをお約束するものです。お買い上げの日から1年以内に故障した場合は本書をご提示の上お買い上げの販売店または当社サービスステーションに修理をご依頼ください。

品　　名	リプライコール中継機		
無料修理保証期間	1 年	お買い上げ日	年　月　日
お　客　様	住所　〒 TEL		
	氏名 様		
販　売　店　名 印			

ReplyCall リプライコール

中継機 取扱説明書

このたびは本製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。
ご使用の前に、本取扱説明書をよくお読みいただき、正しくお取り扱いいただきますようお願い致します。

INDEX

安全上のご注意……P1
はじめに……P3
中継機の機能を設定する……P4
お手入れ方法……P10
仕様……P10
保証とアフターサービス……P11

安全上のご注意

※ご使用の前に、「安全上のご注意」をお読みのうえ、正しくお使いください。
※ここで示した注意事項は、製品を安全に正しくお使いいただき、ご使用になる方や他の人々への危害、損害を未然に防止する為のものです。
注意事項は、危害や損害の大きさと切迫の程度を明示するために、誤った取扱いをすると生じることが想定される内容を「警告」、「注意」の2つに区分しています。
いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ずお守りください。

⚠警告	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人体に多大な損傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
⚠注意	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が損傷を負う可能性及び物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

絵表示の例

●この記号は、注意（警告を含む）を促す内容を告げるものです。

●記号は、禁止の行為であることを告げるものです。図の中や近傍に具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。

●記号は、行為を強制したり指示したりする内容を告げるものです。

⚠警告

●お手入れの前には、電源プラグを抜いてください。（感電のおそれがあります。）

●コードや電源プラグが傷んだり、コンセントの差し込みがゆるいときは使用しないでください。（感電やショートして発火することがあります。）
●コードを傷つけたり、破損したり、加工したり、無理に曲げたり、ひっぱったり、ねじったり、たばねたりしないでください。また重いものを載せたり、挟み込んだりしないでください。（感電やショートして発火することがあります。）

●製品に水や洗剤をかけないでください。
●水のかかるところや、湿気の多い場所には設置しないでください。（火災や感電のおそれがあります。）

●修理技術者以外の人は、分解したり、修理･改造は行わないでください。（火災や感電のおそれがあります。）

●コードを乱暴に扱わないでください。
●電源プラグの刃及び刃の取付面にほこりが付着している場合は、よく拭いてから使用してください。（火災や感電のおそれがあります。）

●煙が出たり、変な臭いや音がするときは、使うのをやめ、電源プラグを抜いてください。（火災や感電のおそれがあります。）
●内部に水や異物などが入ったときや外装ケースが破損したときは、使うのをやめ、電源プラグを抜いてください。（火災や感電のおそれがあります。）

●ぬれた手で、電源プラグの抜き差しはしないでください。（感電の原因となります。）

⚠注意

●電源コードを抜くときは、コードを持たずに必ず先端の電源プラグを持って抜いてください。（感電やショートして発火することがあります。）

●不安定な場所や火気の近くでは使用しないでください。
（変形･故障の原因となります。）

●長期間、ご使用にならないときは、安全のため、電源プラグをコンセントから抜いてください。（火災の原因となります。）

●雷が鳴り出したら、電源プラグに触れないでください。
（火災や感電のおそれがあります。）

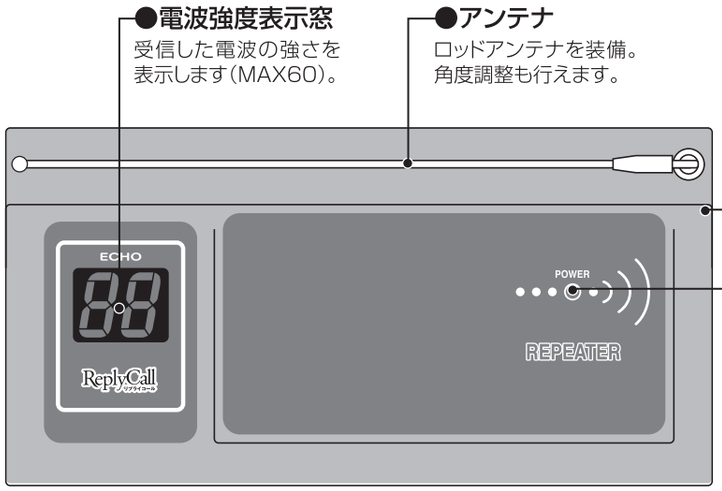
●強い衝撃を与えたり、投げつけたりしないでください。
●通気孔をふさがないでください。（火災や故障の原因となります。）
●磁気を帯びたものを近づけないでください。（故障の原因となります。）

●本製品は防水ではありません。水に濡れないようできるだけご注意ください。万一濡れてしまった場合には、乾いた布で速やかに拭き取ってください。

※本商品は報知および連絡用です。生命救済、犯罪防止を目的にした機器ではありません。
※使用場所により、電波の届く距離が短くなる場合があります。

はじめに

各部の名称/機能



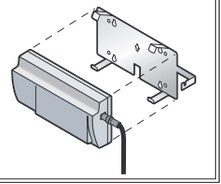
●電波強度表示窓
受信した電波の強さを表示します(MAX60)。

●アンテナ
ロッドアンテナを装備。
角度調整も行えます。

●ACアダプタ接続口
ACアダプタを接続して使用します。

●電源用LED
通電中は常に点灯します。

●専用取付金具(別売)
設置に便利な取付け用の金具をご用意しております(別売)。
必要に応じてお求めください。



●ACアダプタ
中継機本体と接続後、コンセントに差し込んで使用します。

中継機の設置場所について

中継機の設置場所には電源が必要です。
※設置場所を探す場合のみ乾電池をご利用ください。

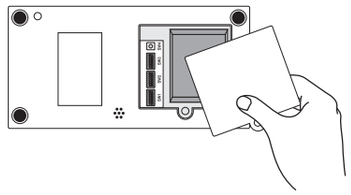
- ●電波強度表示を「有効」に設定すると、常に電波強度数を表示します。(→P4)
- ●送信機から「見通し約300m以内」「電波強度数25以上」の場所を、設置場所としてください。(→P4)
- ●中継機から受信機までは見通し約100m以内です。
- ●送信機・中継機・受信機の、それぞれの電波到達距離は、外部環境によって異なります。
- ●中継機をご使用の前には、電波強度検査を十分に行ってください。
- ●電波強度表示を「無効」にすると、受信時に約2秒間電波強度数を表示します。(→P4)
- ●通常のご使用時は必ずACアダプタを接続し、電源LEDが点灯していることをご確認ください。
- ●高温、多湿、ほこりの影響を受けない場所に設置してください。
- ●本製品は防水ではありません。単独での屋外設置は避けてください。

中継機の機能を設定する

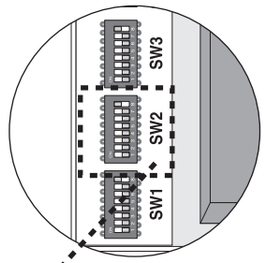
電波強度表示の有効/無効

電波強度表示を有効/無効にする設定が行えます。有効にすると最新の電波強度を常に表示します。無効にすると受信する度に2秒間電波強度を表示し、その後表示はOFFとなります。

1 ビスを外して裏板を外します。

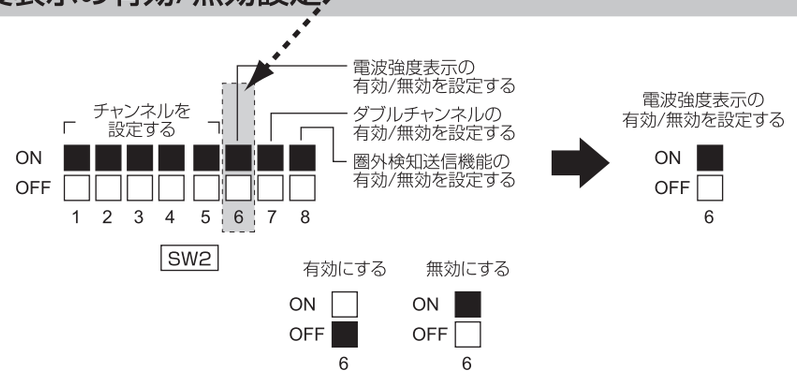


2 電波強度の有効/無効をディップスイッチで設定します。



3 工場出荷時は無効(OFF)に設定されています。
必要に応じて設定を変更してください。

電波強度表示の有効/無効設定



電波強度表示について

中継機が信号を受信すると、表示窓に受信した電波の強さを表示します。
最大値は60です。通信が行える下限目安は25前後です。
20以下の場合は、信号データが受信不良となりやすく中継を拒否します。
- ●信号を受信すると左側の7セグLEDのドットが1回点滅します。
- ●信号を中継送信するともう1回点滅します。

電波強度を目安にすることで中継機の設置場所を容易に決定できます。

POINT

有効での利用方法
中継機を設置する場合に、設置箇所の電波状況を確認する目安になります。設置箇所を確定した後は無効に戻してください。

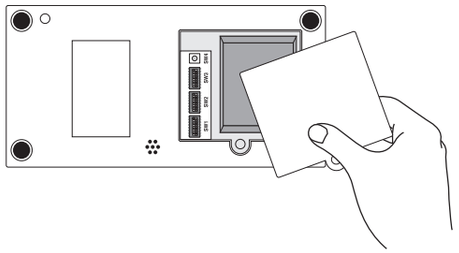
※設定変更後は必ずリセットボタンを押してください。

中継機の機能を設定する

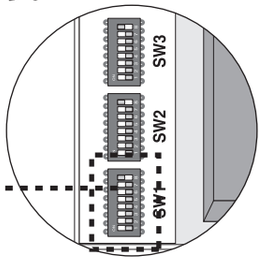
中継機番号設定

中継機を複数台使用する際、中継機同士の電波干渉を防ぐために、同じ番号とならないよう中継機の番号を変更してください。中継機番号は1～8番まで設定できます。

1 ビスを外して裏板を外します。



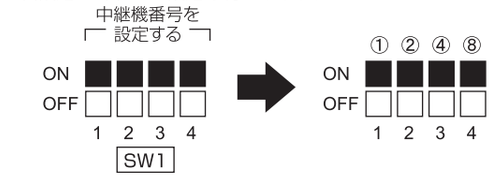
2 中継機番号をディップスイッチで設定します。



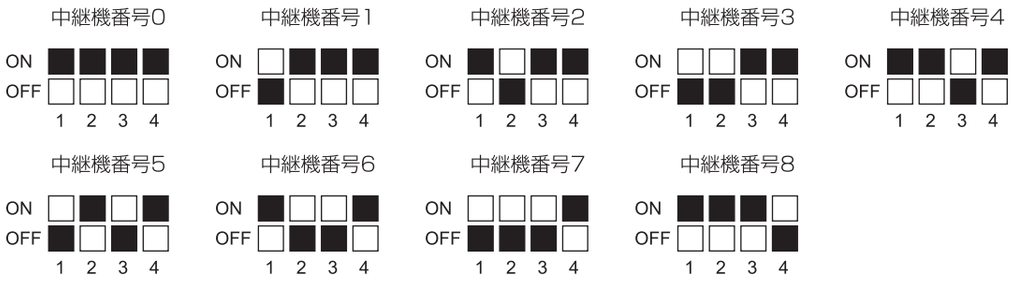
ご注意 2台以上の中継機に同じ番号を設定するとトラブルの原因となりますので、同じ番号を設定しないようご注意ください。

中継機番号設定一覧

0番設定は1番として設定、表示されます。



数字の和が中継機番号となります。



※中継機を使用する際、送信機の設定変更が必要になります。

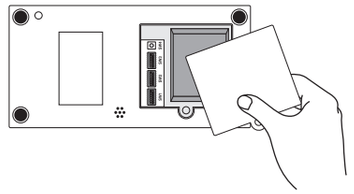
POINT 「送信機側」の設定変更
中継器の中継時間および受信機からの返信時間を考慮して、受信タイムアウト延長を有効（ディップスイッチSW3の7をON）にしてください。

※設定変更後は必ずリセットボタンを押してください。

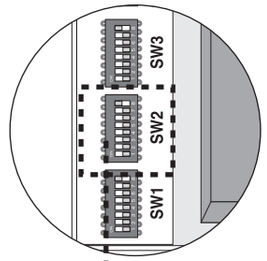
チャンネル番号の変更

中継機のチャンネルは20（1～20）チャンネルの中から自由に設定/変更することができます。チャンネル番号は、送信機および受信機と同じに設定してください。

1 ビスを外して裏板を外します。



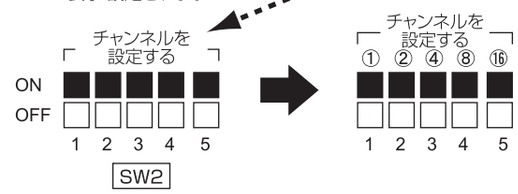
2 チャンネル番号をディップスイッチで設定します。

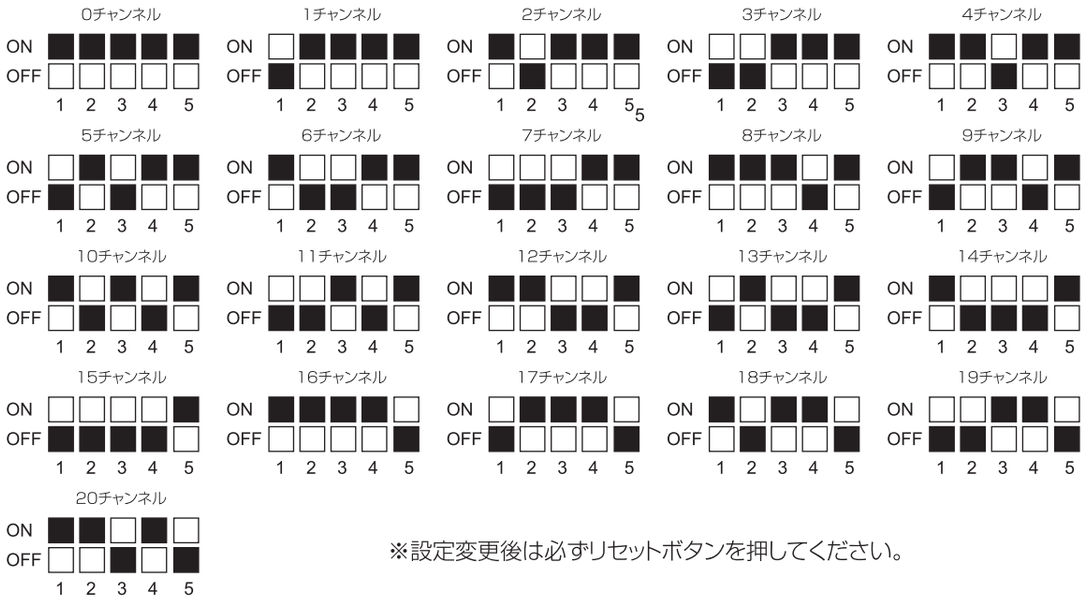


3 工場出荷時には1チャンネルに設定されています。必要に応じて設定を変更してください。
0チャンネル設定は1チャンネルとして設定、表示されます。

チャンネル設定一覧

0チャンネル設定は1チャンネルとして表示・設定されます





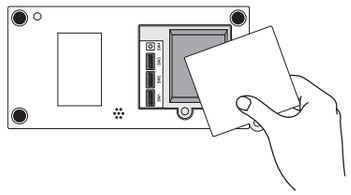
※設定変更後は必ずリセットボタンを押してください。

中継機の機能を設定する

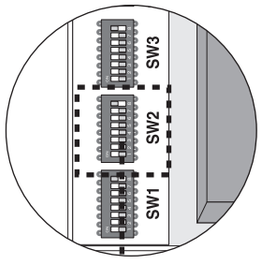
ダブルチャンネルの有効/無効

異なる2つのチャンネルを1台の中継機で中継可能にする「ダブルチャンネル」の有効/無効を設定できます。ダブルチャンネルを利用できるチャンネルの組み合わせは、1-11、2-12、3-13、4-14、5-15、6-16、7-17、8-18、9-19、10-20です。ダブルチャンネルを利用すれば、中継機を何台も設置する必要がありません。

1 ビスを外して裏板を外します。

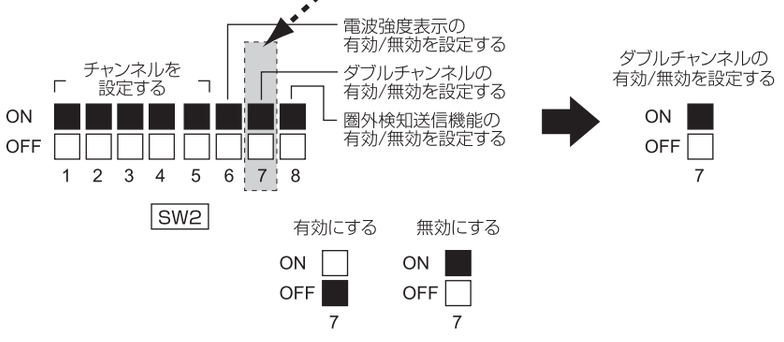


2 ダブルチャンネルの有効/無効をディップスイッチで設定します。



3 工場出荷時は無効（OFF）に設定されています。
必要に応じて設定を変更してください。

ダブルチャンネルの有効/無効設定

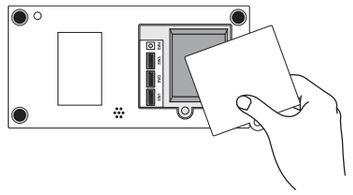


※設定変更後は必ずリセットボタンを押してください。

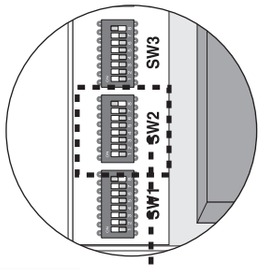
圏外検知送信機能の有効/無効

送信機を電池で使用する場合、低消費電力機能（自動電源OFF機能）で使用することになるため、送信機で圏外検知の定期送信が行えません。そこで送信機ではなく、中継機から一定の間隔で受信機へ圏外検知の信号を発信し、受信機が「圏外」かどうかを確認する機能です。設定はディップスイッチによって行います。

1 ビスを外して裏板を外します。



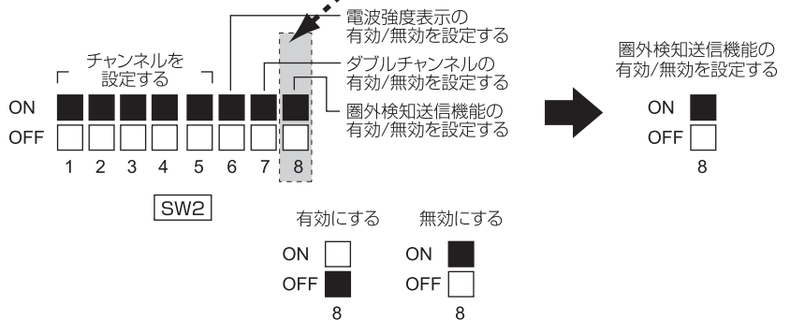
2 圏外検知送信機能の有効/無効をディップスイッチで設定します。



3 工場出荷時は無効（OFF）に設定されています。
必要に応じて設定を変更してください。

※約20秒毎に送信します。
表示用7セグLEDの右側ドットが点滅します。

圏外検知送信機能の有効/無効設定



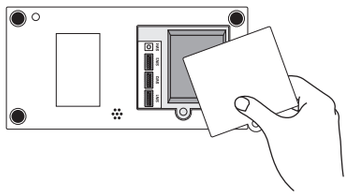
※設定変更後は必ずリセットボタンを押してください。

中継機の機能を設定する

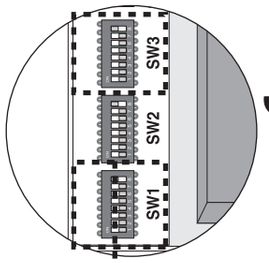
中継しない中継機番号設定（3台まで設定可能）

比較的近い距離で中継機を複数台設置しなければならない場合、中継機同士の電波干渉が発生し、受信機または送信機に呼出しや返信の電波が届かないことがあります。このことを予防するため、あらかじめ中継機が別の中継機からの電波を受けても送信しないようにする機能です。

1 ビスを外して裏板を外します。

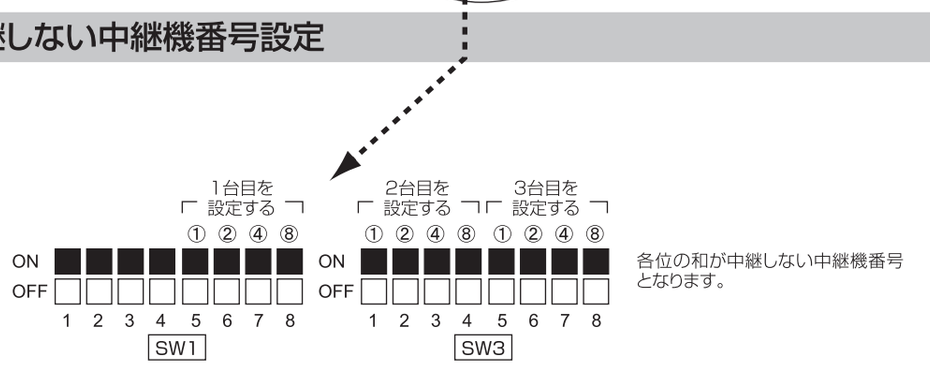


2 中継しない中継機番号をディップスイッチで設定します。



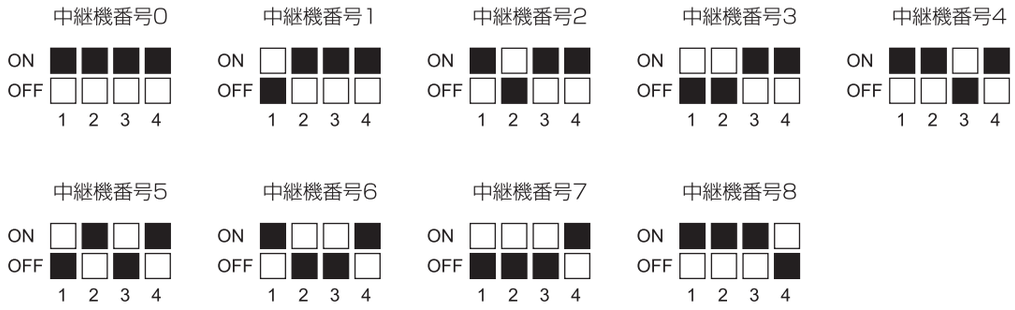
3 工場出荷時は無効（OFF）に設定されています。必要に応じて設定を変更してください。

中継しない中継機番号設定



各位の和が中継しない中継機番号となります。

■SW1での設定例



2台目、3台目についても設定は同様です。

※設定変更後は必ずリセットボタンを押してください。

お手入れ方法

⚠警告　感電の恐れがありますのでお手入れの前には電源プラグを抜いてください。

お手入れ

- 汚れが気になる場合には固く絞った柔らかい布で拭いてください。
- 汚れがひどい場合には、うすめた食器用中性洗剤を含ませた布で拭いたあと、固く絞った柔らかい布でよく拭いてください。
  （特に冬場には静電気の影響でホコリが付きやすくなることがあります）

⚠警告　火災や感電の恐れがありますので、製品や電源プラグ部に水や洗剤をかけないでください。

⚠警告　ベンジン、シンナー、クレンザー、ナイロンたわしなどの使用は、プラスチックを傷めますのでやめてください（プラスチックが割れてケガをする恐れがあります）

故障かなと思ったら

■電波強度表示窓に何も表示されない。

- 中継機とACアダプタが接続されており、かつACアダプタがコンセントに差し込まれているか確認してください。
- チャンネルの設定が送信機･受信機と同じになっているか確認してください。

■送信機がすぐにタイムアウトになる。

- 中継機を使用する場合、送信機の設定で、受信タイムアウト延長を有効に変更してください。（P5 POINT参照）

問題が解決しない場合には販売店にご相談ください。

■仕様

型式	RE-400
電源	100V DC6Vアダプタ
サイズ	170(W)×85(D)×40(H)mm
重量	200g
周波数	426.025～426.1375MHz 特定小電力
チャンネル	20チャンネル
受信電波強度表示機能	有り
到達距離	対送信機 約300m
	対受信機 約100m
設定番機	同一チャンネルエリア 1～8番機
消費電力	約3W(ピーク時)

※専用取付金具有り（別売）